

平成31年度の主な産業人材育成施策

【3つの施策の柱に共通する取組】

I 産学行政の連携による産業人材育成体制の強化

- 愛知県産業人材育成支援センター事業費 9,662千円
産業人材育成施策に係る関係者の「連携」を一層促進するため、専門人材によるコーディネート機能を担う拠点を設置し、実行性能高い事業を実施
 - ・企業OBである産業人材育成連携コーディネーター2名を配置
 - ・中小企業経営者を対象としたあいち経営者人材育成塾(森岡塾)の開催
 - ・教育機関が遠隔地となる中小企業に対し必要な講習、セミナー等を開催
 - ・産業人材育成に関するポータルサイト「ひと育ナビ・あいち」の運営

II 県立高等技術専門校の見直し・機能充実→別紙1参照

- 職業訓練の実施 1,924,880千円
 - ・普通課程訓練費(学卒者対象訓練)
 - ・離転職者対象訓練費
 - ・在職者訓練費
 - ・雇用セーフティネット対策訓練費
 - ・高等技術専門校の整備
- 障害者職業訓練の実施 332,238千円
 - ・名古屋・岡崎高等技術専門校、愛知障害者職業能力開発校
7科 定員145人
 - ・委託訓練
51科 250人

III 技能五輪全国大会及び全国アビリンピックの開催準備・招致→別紙2参照

- 技能競技大会費 833,880千円
 - ・2019年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催
 - ・2020年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催準備
 - ・2023年技能五輪国際大会の招致に向けた取組

【施策の柱ごとの取組】

I 高度なモノづくりに向けた人材の育成支援

- 県内大学魅力向上支援事業費(新規) 4,566千円
- 航空機製造人材育成支援事業費 2,019千円
- 航空機製造技能者育成事業費 6,112千円
- 次世代計測加工技術者養成事業費 4,183千円
- IOT人材育成支援事業(新規) 7,570千円

II 中小・小規模企業の人材育成・能力開発支援

- あいちの担い手育成支援事業費 5,857千円
企業OB等を始めとした熟練技能者を「あいち技の伝承士」として「あいち技能者伝承バンク」に登録、中小企業等へ技能指導
 - ・中小企業従業員、高校生等 25団体 延175人日
 - ・外国人技能実習生(新規) 10団体 延50人日
- 介護分野外国人就職支援費 31,451千円

III キャリア教育・職業教育の推進

- モノづくり魂浸透事業費 7,783千円
 - ・技能五輪メダリスト等を講師として講話や実演などを行う出前講座の実施
県内小・中学校、特別支援学校 45校
 - ・小中学生を対象とした技能大会(「アイチータ杯」)の開催
- 出張発明クラブの開催費 792千円
- 愛知の発明の日普及啓発事業費 5,025千円
- あいち航空ミュージアム管理運営委託費 61,465千円
- あいち航空ミュージアム展示物設置費 17,134千円
- ノーベル賞受賞者顕彰施設整備事業費 20,591千円
- キャリア教育推進事業費 36,331千円
- あいちSTEM教育推進事業費 13,035千円

高等技術専門校で実施する職業訓練の充実を図ります

予算額 1, 924, 880千円

高等技術専門校において、施設整備と組織の統廃合・再編を一体的に進め、中小企業支援のためのモノづくり人材育成機能の強化を図ります。

平成31年度は組織再編後の初年度として、名古屋高等技術専門校に組込みシステム科やインテリア科など新しい訓練科を設けるとともに、在職者訓練コースの拡充を図るなど専門校の機能強化を進めます。

1 普通課程訓練費（学卒者対象） 85, 065千円

IoTに対応できる人材を育成する「組込みシステム科」を新設し、5科210人の定員で訓練を実施します。

2 短期課程訓練費 1, 418, 619千円

○ 離転職者対象訓練

住宅の内装デザインやリフォームに対応できる人材を育成する「インテリア科」を新設し、10科480人の定員で訓練を実施します。

○ 在職者訓練

中小企業の人材育成を支援するため、より実践的な指導ができるよう訓練内容を充実させ、訓練定員も75コース800人に拡充して実施します。

○ 雇用セーフティネット対策訓練（民間委託）

再就職を支援するため、「介護福祉士養成科」や「ビジネスパソコン科」など260コース4,621人の定員で訓練を実施します。

3 高等技術専門校整備費 421, 196千円

名古屋校の空調工事、岡崎校の新校舎建替のための実施設計を行います。また、訓練に必要な機器の整備を進めます。

拡充する在職者訓練のコース（主なもの）

| 実施校 | コース名 |
|------|----------------|
| 名古屋校 | 車載ネットワーク入門 |
| | 建築デザイン技術 |
| 岡崎校 | Androidプログラミング |
| | NCプログラミング講座 |

施設整備スケジュール(予定)

| 校名 | 時期 | 2018年度 (平成30年度) | 2019年度 (平成31年度) | 2024年春頃 |
|------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------|
| 名古屋高等技術専門校 | 空調工事 | 実施 | | |
| 一宮高等技術専門校 | 廃止統合 | 実施 | | |
| 窯業高等技術専門校 | 組織再編:名古屋高等技術専門校窯業校 | | | |
| 岡崎高等技術専門校 | 校舎建替 基本設計 | 実施設計 | 実施設計 | 完成(予定) 整備工事 |
| 高浜高等技術専門校 | 廃止統合 | 実施 | | |
| 東三河高等技術専門校 | 耐震工事 | | | 一部コース移設 |

組織再編:三河高等技術専門校(仮称)
組織再編:三河高等技術専門校豊川校(仮称)

技能五輪全国大会・全国アビリンピックの2年連続開催と 技能五輪国際大会の本県招致に向けた取組を推進します

予算額 833,880千円

全国大会ロゴマーク



AICHI
2019-2020

全国大会スローガン

「その技に 誇りと感動 あいちから」

大会史上初となる2年連続の2019年度・2020年度技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）の開催及び開催準備を進めるとともに、2023年技能五輪国際大会の日本・愛知への招致に向けた取組を推進します。

1 技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催等

愛知県国際展示場を始め県内の4市9会場において、2019年度大会（11月開催）を開催するとともに、2020年度大会（11月開催予定）の開催準備、選手の育成・強化、大会ロゴマークやイメージキャラクターを活用した広報等を実施します。

【2019年度大会の概要】

| 区分 | 技能五輪全国大会 | 全国アビリンピック |
|-------|---------------------------|--------------------------|
| 開催日程 | 2019年11月15日(金)～11月18日(月) | 2019年11月15日(金)～11月17日(日) |
| 式典会場 | 愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo) | |
| 競技会場 | 愛知県国際展示場始め県内4市9会場 | 愛知県国際展示場 |
| 競技職種等 | 機械組立て、抜き型等42職種(予定) | 洋裁、家具等22種目(予定) |
| 参加選手数 | 約1,400人(予定) | 約400人(予定) |
| 来場者数 | 20万人以上(目標) ※選手・関係者・見学者等含む | |
| 主催 | 厚生労働省、愛知県、厚生労働省委託機関 | (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、愛知県 |

※愛知県国際展示場では、技能五輪・アビリンピックの54競技を実施

2 技能五輪国際大会の招致に向けた取組

2023年技能五輪国際大会の招致に向け、WSI加盟国への働きかけや招致決定に向けたWSI総会でのプレゼンテーション、県内の招致機運の盛り上げのため啓発イベントを実施します。

【これまでの取組と今後のスケジュール（想定）】

| 年 | 取組内容 |
|------|---|
| 2017 | (国)2023年技能五輪国際大会招致方針決定(9月22日) |
| 2018 | 2023年技能五輪国際大会招致委員会発足(4月18日) WSI総会で、2023年技能五輪国際大会に正式立候補表明(10月18日) |
| 2019 | WSI事務局による検証訪問(3月) WSI総会(ロシア・カザン)で開催地決定(8月) |

※WSI(ワールドスキルズ・インターナショナル):技能五輪国際大会の運営組織